

環境報告書 2018

Shinko-Chemical Environmental Report

Clean & Quality

私たちは医薬品容器総合メーカーとして、
人と環境にやさしい高品質な製品づくりに努めています。



伸晃化学株式会社
Shinko Chemical Co.,Ltd.



代表取締役会長 荒井 昌信
代表取締役社長 荒井 昭充

『環境報告書2018』を発行するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は、1945年の創業以来、医薬品容器の開発と製造を歩み、今日では、成形・印刷・検査・洗浄・滅菌を自社内で行える一貫生産体制とし、製品の安定供給をはかり、医薬品の直接容器として医薬医療を支えています。これも多くのステークスホルダー皆様のおかげであり深く感謝いたします。

医薬品業界では、国の医療費抑制政策として、薬価制度の見直しや後発医薬品の促進が従来にも増して強力に推進され、グローバルな市場競争とともに、厳しい環境の下、変革が求められています。医薬品の直接容器を生産する当社として、そのような変革に対応し、高度化する医療技術の進歩に応え、技術力・開発力をアピールするため、インターフェックスジャパン(医薬品等研究開発・製造技術国際展)に出展しました。また工業デザイン分野では、第43回石川県デザイン展において当社の「丸形ツイスト容器」が石川県デザイン協議会会長賞を受賞いたしました。

環境について、地球温暖化防止や環境問題に対し、企業にはより一層の取り組みが求められており、当社は2008年にISO14001を全社取得し、環境配慮の事業活動を行い、環境負荷削減とリスク低減に取り組んでいます。重点施策として、エネルギー管理指標である原単位低減に努め、生産設備の効率化・省力化を進め生産性向上を図り、エネルギーと廃棄物両面の削減を行っています。

本報告書は、当社の環境活動や品質への取り組みなど主要な内容を纏めたものであり、ご高覧いただき当社にご理解をいただく一助となれば幸いです。

今後とも、人と環境に優しい製品づくりを通じて社会から信頼される企業を目指して参ります。皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年4月

〈目次〉

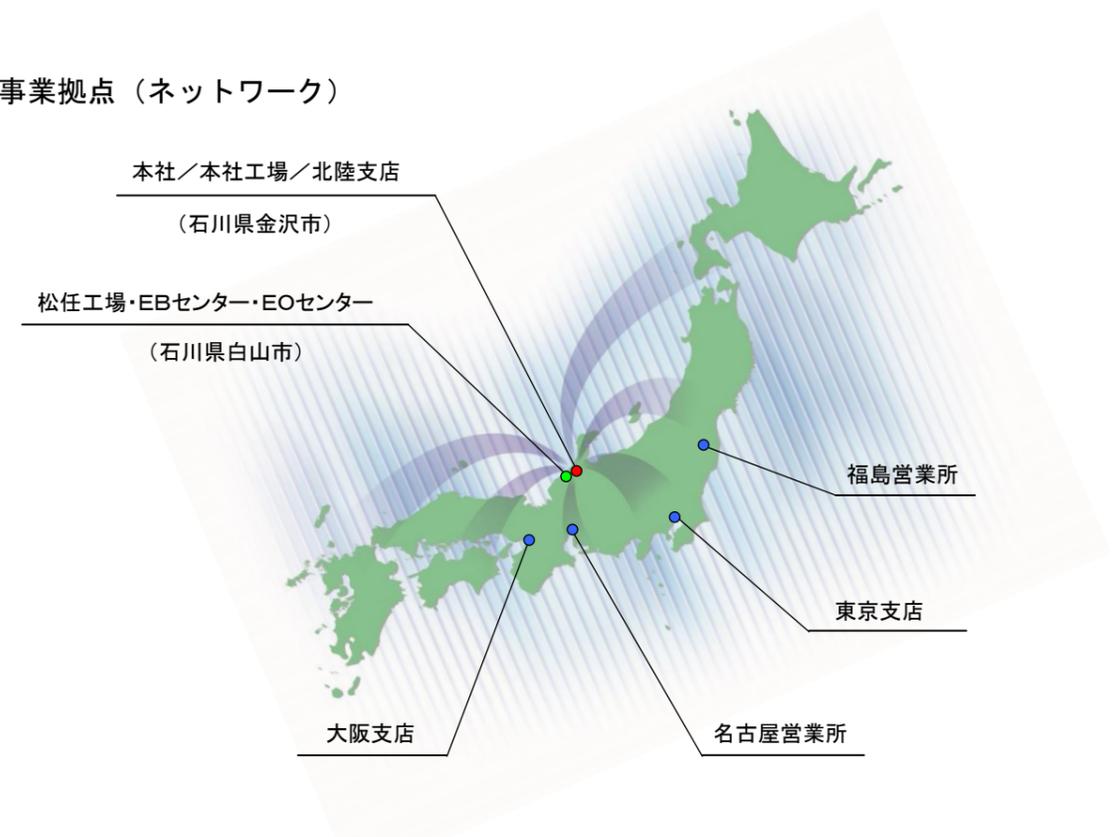
トップメッセージ	...	1	品質への取り組み	...	7-8
会社概要／事業拠点	...	2	環境活動について	...	9-11
製品紹介／生産体制	...	3-4	環境データ／環境のあゆみ	...	12
マネジメント／国際認証規格	...	5-6	社会的報告	...	13-14

〈本報告書の範囲〉

対象事業所：伸晃化学株式会社 全事業所
データ集計：2016年10月-2017年9月
活動期間：2016年10月-2018年3月
参考指針：環境省環境報告書ガイドライン

社名	伸晃化学株式会社 (Shinko Chemical Co., Ltd.)
代表者	代表取締役会長 荒井 昌信 代表取締役社長 荒井 昭充
本社所在地	石川県金沢市藤江南2丁目4番地
事業内容	医薬品容器を主力として、医療機器・電子部品の製造及び販売
創業	1945年(昭和20年)10月
資本金	90百万円
売上高	109億98百万円 (2017年9月期)
従業員数	606名

事業拠点 (ネットワーク)



本社正面



松任工場 (電子線照射センター)

医薬医療を支える伸晃化学

伸晃化学は、多くの医薬品容器・医療用デバイスを社会にお届けしています。これら製品には高い製造基準が必要ですが、当社では、成形・印刷から検査、洗浄・滅菌に至るまで自社内で完結出来る生産体制を構築し、医薬容器等の安定供給を行っています。

豊富な製品ラインナップで医薬医療に貢献する

確かな実績とノウハウ、最新のテクノロジーを用いて製品開発を行い、ニーズに応じてきめ細かく対応し、目薬・点鼻容器、錠剤・顆粒容器、浣腸容器、消毒・軟膏剤容器及び歯科用器具、検査薬器具、医療用デバイスを製品化し、ラインナップしています。実用性と信頼性に優れた当社の製品は、国内はもとより、海外の製薬会社へも供給しています。



当社医薬品容器の製品例

製品開発への取り組み

医薬品容器及び医療用デバイスの開発では、プラスチック素材の特性や可能性を追求し、今までにない発想で製品化を実現し、お客様に提案し採用されています。また環境配慮製品の開発も注力し、これまでに、減容化容器、パッキンレスキャップ、オートクレーブ対応容器、バイオプラキャップ(植物由来原料)、残液低減容器、乾燥剤分離廃棄キャップなどを開発しました。

開発製品

丸型ツイスト容器がデザイン展で受賞

平成28年度石川県デザイン展において、当社の丸型ツイスト容器が受賞しました。この製品は丸型点眼容器に対応したツイストキャップを有し、従来のスクリューキャップに比べて軽い力で開けられるユニバーサルデザインとなっており、患者様の使用時の負担軽減につながります。また製薬会社様での薬液充填後の閉栓巻締め工程が不要なため、生産スピードの向上が見込めます。尚、この丸型ツイスト容器は、2018年1月12日に米国において登録査定となりました。国内及びその他の国は特許出願中です。(国際公開番号 WO2016080345A1)



～ 使用時のキャップ開閉イメージ ～

一貫した生産体制

本社工場は、成形・印刷・組立などの製造部門に加え、生産機械・成形金型の製作及びメンテナンスを行う部門を有し、マザー工場として各設備が常に適正な状態で生産が出来るようバックアップしています。松任工場では、成形部門の他、電子線照射滅菌及びEOG滅菌の各装置を有し、自社での一貫した生産体制を構築しています。



本社・本社工場



松任工場・電子照射センター



電子線照射装置(加速器本体)

クリーンな製造環境

当社は、クリーンで高品質な製品を生産するために、生産装置と製造環境の充実に注力しています。生産装置について、画像処理検査装置や製品組立装置などのハイテク機器を自社開発し、製品精度の高さと厳しい規格基準にえています。製造環境については、クリーンな環境を保つため工場内をゾーニングし、清浄度の維持管理に努めています。



ダイレクトブロー成形機



延伸ブロー成形機



スクリーン印刷機(UV式)

TOPICS

インターフェックスジャパンに出展

2017年6月28日から3日間、東京ビッグサイトで開催された医薬品等の研究開発・製造技術分野の国際展示会(IPJ)に前年に引き続き11回目となる出展を行いました。当社の開発製品や機能性製品などさまざまな製品を展示し、当社の持つ豊富な実績や経験をお客様に役立つ情報として紹介しました。



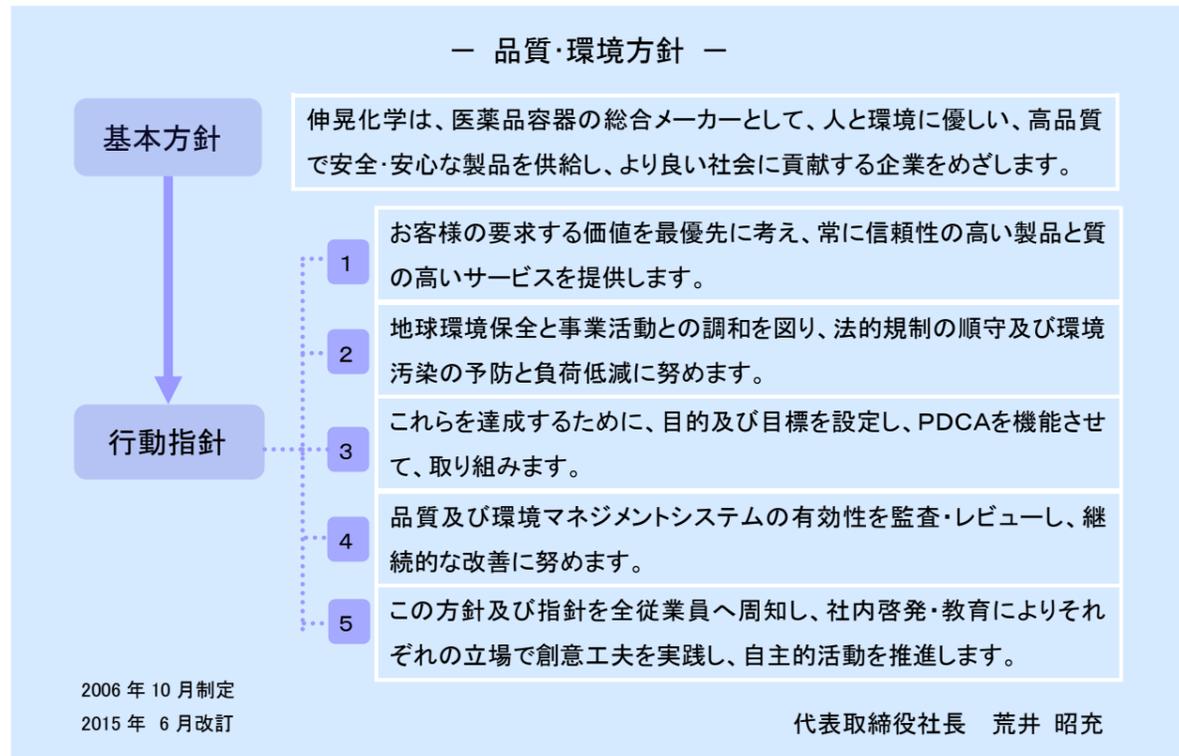
当社の展示コーナー



製品の展示紹介

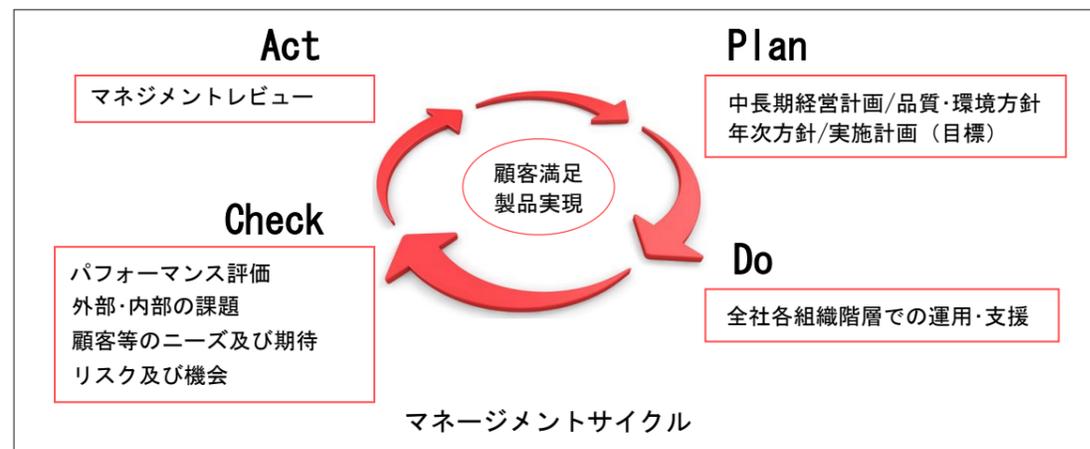
わたしたちは医薬品容器を通じて社会に貢献します

信頼性の高い製品実現と安定供給をはかり、お客様の満足を得るため、マネジメントプロセスを明確にし、経営資源を効果的に機能させ、実効性のある活動を行っています。そのために企業の社会的責務を認識し、品質・環境方針を定め、これらを統合し一体としたマネジメントを展開しています。



マネジメント（QMS, EMS）

当社では、製品実現に沿った方針及び目標を設定し、PDCAを確実に回して、計画実行と運用管理に当たり、経営層によるマネジメントレビューを定期的実施し、重点施策や課題進捗について、常に適切な検討と改善が加えられるよう取り組んでいます。



国際認証規格の取得

当社は、品質保証の国際規格であるISO9001を2000年に、環境ISO14001を2008年にそれぞれ取得し、現在では認証範囲を支店・営業所を含む全事業所に拡大しています。

ISO9001

グローバルな視点に立ち、ISO9001に適合した製品実現と関連サービスの提供を行うため、システム及びプロセスの運用と継続的改善を実施し、人的・物的経営資源の有効活用を図り、レスポンスを高め品質向上につなげています。

ISO14001

環境負荷削減と化学物質の適正管理をはかり、環境配慮型製品の開発にも注力し、パフォーマンスの向上につなげています。運用に際しては、ISO9001との統合を図っています。

規格改訂への対応

ISO規格は、品質・環境とも2015年に改訂され、当社は2017年の移行審査を完了し、認証を受けました。改訂により、トップマネジメントの関与とプロセスの明確化、パフォーマンス重視が従来以上に求められており、評価方法の見直しや文書マニュアルの整備をはかり、より実効性のある活動が行えるよう取り組んでいます。

コンプライアンス

当社はコンプライアンスに対応する取り組みをマネジメントに反映し、法的規制である許可届出、定期報告・検査などの対象事項を把握するチェックリストを作成し、評価表による順守状況の確認を行っています。2017年は品質及び環境を含め問題となる事象はありませんでした。

規格名称	ISO9001	ISO14001
最新審査	2017年5月	2017年5月
初回登録	2000年4月	2008年7月
認証機関	Intertek	Intertek
認証番号	09948-A	09948-B
対象サイト	全事業所	全事業所

監査について

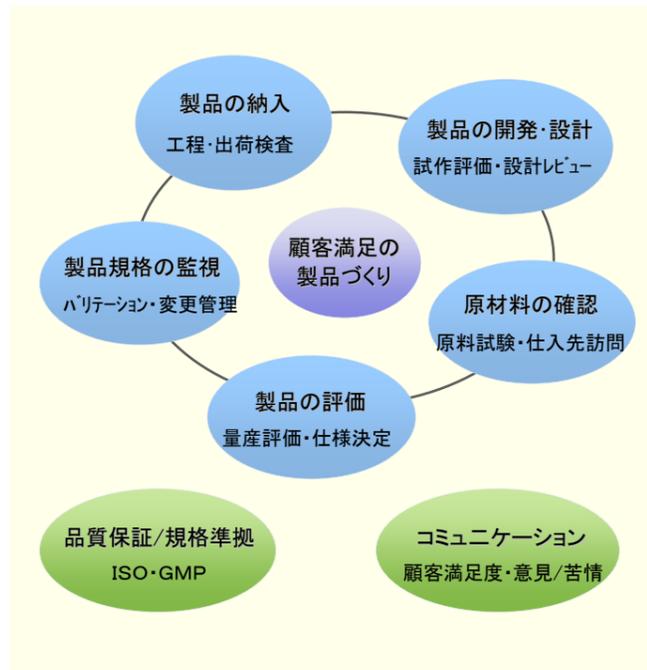
当社では、システムの運用やパフォーマンス結果を客観的に評価する上で、内部監査及び外部審査は欠かすことの出来ない重要なものと位置づけています。内部監査は対象部署毎に年1回実施し、運用に不適合があった場合、是正処置を行い、再発防止を図ることに加え、現場改善やシステム改善に結びつくヒントを提案出来るよう取り組んでいます。監査結果は、経営層に報告され、マネジメントレビューにフィードバックしています。



ISO 外部審査の実施状況（本社工場 2017.5）

品質保証体制の充実をはかり、信頼性の高い製品を供給します

製品開発から納入までトータルな品質保証



当社は、お客様のニーズに合致した製品の品質・信頼性を確保し安定的に提供するために、ISO9001をはじめとした品質保証の国際規格及びお客様の要求に適合した品質システムを、製品の企画開発から設計、試作、量産、出荷及びサービスに至るまで確立し、実行しています。

生産プロセスについて、情報基幹システムにより一元的に管理し、製品ごとに作成するQC工程表を用いて、的確な製品管理を実施しています。設計段階でのデザインレビュー、生産段階での性能評価、お客様のニーズや仕様などの変更の際は、製品規格への反映が確実なものとなるよう変更管理により、医薬品分野に求められる厳しいプロセス監視を行っています。

全社的な品質保証を担うマネジメントとして、品質管理委員会及び品質向上委員会を定期的に開催し、お客様からの意見や苦情の情報、課題や再発防止策の進捗チェックを行い、品質活動の有効性・方向性を確認し、実施方針や重要事項の決定を行っています。

医療機器・医薬品容器としての取り組み

当社は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく医療機器の製造業及び製造販売業の登録及び許可を受けており、関連する製品の製造工程では、法律に基づく責任者を配置し、製造ライン・製造環境とも厳格な管理を実施しています。また当社では、機能・強度等の規格試験に加え、容器の原料素材とお客様で充填される医薬液剤との適合性を重要なファクターとして位置づけ、原料試験及び細胞毒性試験を実施し、その評価データをお客様に提出し、当社製品が高品質な医薬品容器として安心して使用いただけるよう取り組んでいます。

名称	医療機器 製造業	医療機器 製造業	医療機器 製造販売
区分	一般医療機器	一般医療機器	第三種
番号	17BZ000042	17BZ200010	17B3X10001
期限	H33.6.3	H32.7.20	H34.4.5
登録	石川県知事(届出)	石川県知事(届出)	石川県知事(許可)
対象	本社工場	松任工場	伸晃化学株式会社



クリーンベンチでの細胞毒性試験（研究室）



ガスクロ分析装置での製品機能試験（研究室）

品質向上への取り組み

当社は、システムの運用改善とパフォーマンス改善は品質向上を進めるための両輪と捉えています。そのために、関連する教育の実施と改善意識の啓発が重要であり、これらについて継続した取り組みを行っています。

品質教育の実施

医薬品容器及び医療機器の製造プロセスに携わるうえで、品質に対する教育は極めて重要であるという認識のもと、品質システム及びGMPに関する教育を定期的実施しています。教育に際しては、計画を立て力量マップによる到達度合いを明確化し、役割と責任を担う上での道筋をつけています。また、内部監査員の力量アップを図るため、教育研修を実施し、有効性の高い監査を進めるためのスキル習得を行っています。



GMP関連教育の実施

QC活動・改善提案活動

QCサークルや5S活動、改善提案制度などの自主的活動により、社員一人一人が持つ潜在力を高め、その成果を業務に活かし品質向上とパフォーマンスの改善につながるよう取り組んでいます。QCサークルは、職場毎にチームを組んで改善活動に取り組み、品質及び生産性の向上につなげています。5S活動では、職場横断のチームにより、総合的な視点で問題解決に努め水平展開を図っています。

改善提案(ニューエッグ)には、全社で年間300件以上の提案が寄せられ、即応性の高い提案について速やかに業務に反映出来るようにしています。優秀な活動や提案に対しては社内表彰を行い、啓発と更なるステップアップを目指しています。



QCサークル全社発表会



QCサークル・改善提案表彰式



Communication

医療機器・専用受付電話について

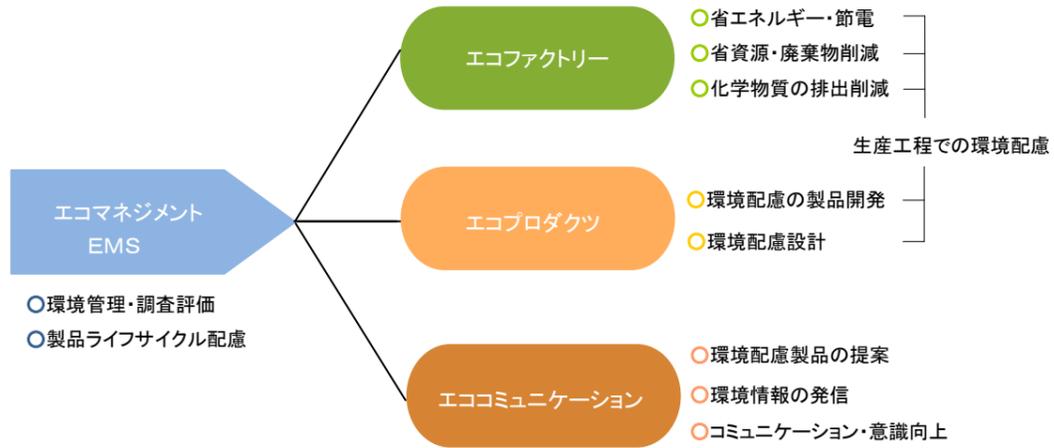
当社は医療用のデバイスを製造し、製薬会社を通じ販売していますが、医療機関、薬局等の販売店及び患者様からの問い合わせに対し、当社の専門スタッフが迅速且つ的確にお答え出来るよう専用の電話ダイヤルを開設しています。

〈電話番号〉 076-293-3220
 〈受付時間〉 8時20分～17時20分
 但し、土日祝を除く
 〈受付窓口〉 品質保証部

地球環境に配慮し、環境負荷低減と持続的発展につなげています

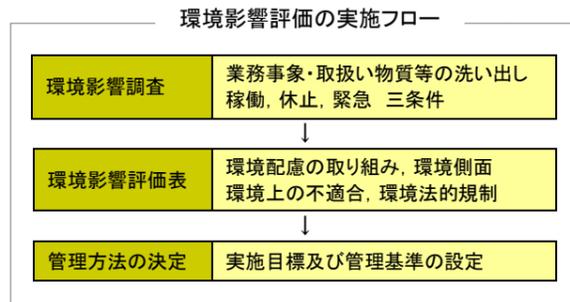
全社的な環境活動のつながりを大切にし、環境パフォーマンスの向上とリスクの機会による管理改善に取り組んでいます。

環境活動のつながり



環境管理について

当社では、業務や生産工程での環境影響評価を定期的に行ない、環境側面とリスクを洗い出し、指数評価を用いた確かな管理を実施しています。著しい環境側面と特定された事象は、環境改善目標の設定による負荷低減と、管理基準の順守によりトラブルが発生しないよう日常レベルでの管理を強化しています。



環境活動の内容

日常業務に取り込み継続的な活動をしています。

取り組み事項		実施内容	
エコファクトリー	省エネルギー	原単位削減	リードタイム・電気機器運用改善、デマンド監視
	省資源・廃棄物削減	廃プラ削減	工程廃プラ削減、リサイクル委託
	化学物質排出削減	PRTR物質の削減	排ガス処理装置、代替物質の検討
エコプロダクツ	環境配慮の商品開発・設計	省資源・廃プラ削減	環境配慮製品開発、金型改良
	環境配慮の設備設計	省エネ・長寿命	合理化機械の設計製作
	環境配慮の製造工程	廃棄物・化学物質削減	デジタル製版、非溶剤印刷(シュリンク・UV)
エココミュニケーション	環境配慮製品の提案	顧客提案	環境配慮製品及び梱包・輸送形態の提案
	環境情報の発信	環境報告書の公開	報告内容の充実
	コミュニケーション・意識向上	環境情報、環境保護	提案活動、環境教育
エコマネジメント	環境管理	管理改善	環境影響調査、法的規制順守評価、不適合是正

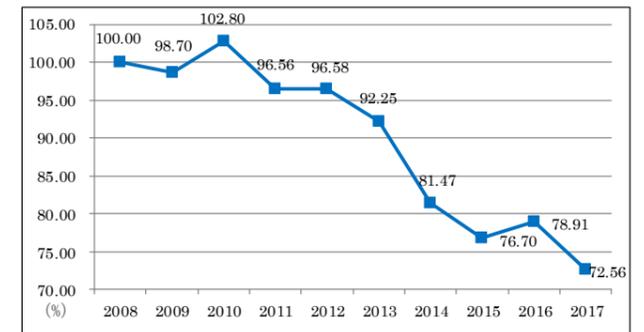
環境実行計画及び活動結果

年間実施計画を定め、具体的な活動を展開しています。

環境実行計画		2017年の活動結果
省エネルギー	エネルギー原単位の削減	消費電力と廃棄原料の削減の両面の寄与効果により前期比 8.0%の削減となった。
	電気機器運用改善(節電活動)	生産設備の電気・エア制御の運用改善、空調機更新を実施した。
廃棄物削減	工程廃プラの削減	工程の見直し及び製品不良率削減により、-2.7%の削減を達成した。
化学物質管理改善	調査及びデータ登録	シンナーの代替となる非有機溶剤系の洗浄液の使用を開始した。
環境報告書	作成及び外部公開	記載内容の充実を図り、2017年版を作成し、HP外部公開を行った。
節電教育	省エネ・節電意識の向上	電力会社から専門家を招き、生産現場の節電事例・デマンド管理を学んだ。
環境教育	環境意識の向上	環境関連規則、法的規制、環境上の不適合事例などを学んだ。

エネルギー原単位の削減

エネルギー管理指定工場(第2種)を有する特定事業者として、エネルギー原単位削減を図るため、生産性向上と合わせて取り組んでいます。当社の原単位は単位電力量当たりの製品出荷量とし、使用電力削減と製品良品率を高めて相乗効果が得られるよう全社的な活動を展開しています。



省エネルギー・節電活動

省エネ活動について、日常の節電活動に加え、電気機器の運用改善に取り組み、生産工程でのエア制御改善、インバータ/タイマー制御の付加、コンプレッサー台数制御などを実施し、設備更新に際しては、電動サーボ式成形機やLED照明の導入、省エネタイプの空調機取替え等を行い、使用電力の削減を図っています。またデマンド監視を継続的に実施し、使用量予測により夏場のピークカット対応を行い、エネルギー損失防止として、生産設備のエア漏れ対策にも力を入れています。



コンプレッサー台数制御

デジタル式圧力計 (エア制御改善)

使用化学物質の削減

金型の洗浄や機械の清掃でシンナーなどの洗浄液を使用していますが、有機溶剤に該当しない代替洗浄液の変更を進め、印刷工程では有機溶剤を使用しないUV印刷への変更やシュリンクフィルムの採用を図り、環境負荷削減をはかっています。2017.6にはデジタル製版への移行を完了し、従来のアナログ製版を廃止しました。これにより現像及び定着液(廃酸・廃アルカリの産業廃棄物)の排出がなくなり、製版工程での廃液がゼロとなりました。今後とも、人と環境に配慮した製品づくり・工程改善に取り組んでいきます。



非有機溶剤系のスプレー式洗浄剤及び充填装置

廃棄物の削減

当社は廃棄物発生量の削減と再資源化率の向上に取り組み、生産工程の歩留まり向上、設計での金型改善によるランナー・バリ重量の低減、イントラネット活用によるコピー紙・帳票類の削減などの活動を継続的に実施し、廃棄時での分別管理の徹底を行っています。また委託先の定期的な訪問を実施し、処理工程の把握及び manifests 等記録の適正管理について、再資源化の情報収集と合わせて現地へ赴き確認し、排出事業者としての責任をはたしています。



委託先(環境開発様)の確認 (2017.9)



— 廃棄物の発生量／再資源率の推移 —

使用水の削減

地下水の使用水量削減をはかるため、冷却水の循環利用、空冷式空調機への更新、電動サーボ式成形機の導入などを進めています。また井戸ポンプ容量を見直し、給水ポンプのインバータ化とともに地下水の負荷低減をはかり、くみ上げ時の変動を緩和しています。



井戸給水システム (本社工場)



インバーター式給水ポンプ

物流面での取り組み

温室効果ガス削減のため、荷主の環境配慮が求められていますが、当社は委託先の物流会社と連携して物流の最適化を進め、エコノミーとエコロジーの両立ができるよう、積極的な取り組みを実施しています。モーダルシフトによる鉄道コンテナ便の利用では、北海道・東北・関東・九州方面のお客様に採用され、到着時間の正確さ、直送のため積み替えがなく梱包ダンボール等への影響がないことより、品質向上にも寄与しています。

1. 輸送効率の向上
 - ・製品貨物輸送量の把握 (2017年実績 496万トキロ)
 - ・物流ネットワーク・混載便の活用、積載率UP
2. モーダルシフトの推進
 - ・鉄道コンテナ便、コンテナ船舶の利用
3. 構内及び社有車利用での環境配慮
 - ・アイドリングストップの励行
 - ・電動式フォークリフトの全車配備

環境活動のあゆみ

年月	主なあゆみ
1963年(S38)4月	本社工場を金沢市長土堀町(旧市街区)から現在の藤江地内(準工業地域)に移転する。
1973年(S48)3月	本社工場に重量鉄筋コンクリート構造の成形工場を完成し、周辺への騒音影響に配慮する
1978年(S53)5月	本社工場を、特定施設工場(騒音振動)として金沢市に届出する。
1995年(H7)6月	白山市(旧松任市)・松本工業団地に松任工場を建設し、電子線照射滅菌施設を稼働する。
2000年(H12)4月	松任工場が第二種エネルギー管理指定工場となる。
2001年(H13)4月	本社工場の受変電施設を高効率の乾式変圧トランスをもつ設備に更新する。
2002年(H14)1月	製品輸送について、鉄道コンテナ便の利用を開始する。(モーダルシフト)
2002年(H14)4月	本社工場が第二種エネルギー管理指定工場となる。
2004年(H16)10月	EOG 滅菌施設を本社から松任工場に移転し、同時に排ガス処理装置を完備する。
2004年(H16)11月	金沢市より、優良廃棄物排出事業所として表彰を受ける。
2005年(H17)2月	北陸電気協会より、優良エネルギー管理事業所として表彰を受ける。
2006年(H18)1月	海外向け製品輸送について、船舶便の利用を開始する。(モーダルシフト)
2008年(H20)7月	全社でISO14001を認証取得する。
2009年(H21)12月	金沢市より、地球温暖化防止に取り組む企業として、認定書の交付を受ける。
2010年(H22)10月	PCB高濃度含有機器の外部委託による処理を実施する。コンプレッサー台数制御方式を導入する。
2011年(H23)2月	中部経済産業局より、エネルギー管理優良事業者として表彰を受ける。
2011年(H23)4-9月	震災に伴う電力需給対応のため、ピークシフト(EB)及び前倒し生産を実施する。
2011年(H23)7月	本社工場及び松任工場にデマンド監視装置を導入する。
2012年(H24)6月	松任工場増改築にて省エネ工場として届出を行い、省エネ配慮の建築材・設備を導入する。
2014年(H26)9月	本社第二工場の受変電施設を更新し、トップランナー方式のトランスに取り替える。
2015年(H27)9月	本社管理棟建物の全照明をLEDに取り替える。
2016年(H28)9月	松任工場作業室の全照明をLEDに取り替える。PCB低濃度含有機器の外部委託処理を完了する。
2017年(H29)6月	本社工場デジタル製版の移行を完了、アナログ製版を廃止し、製版廃液をゼロとする。

環境データ

データ名 (単位)	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
総エネルギー使用量(GJ)	209,725	206,997	205,972	220,045	199,912
二酸化炭素排出量(t)	13,483	13,760	13,692	14,278	12,574
電力使用量(千kwh)	20,782	20,583	20,484	21,891	19,875
燃料(ガソリン・灯油等)(kℓ)	30	27	27	28	28
使用水量(千t)	1,383	1,152	1,179	1,395	1,335
化学物質使用量(t)	24	28	28	32	30
廃棄物排出量(t)	866	871	876	934	856
下水道排出量(千t)	12	12	10	9	10
公共用水路排出量(千t)	1,371	1,140	1,169	1,386	1,325

* 二酸化炭素排出係数について、2017年は0.000627t-CO₂/kwhとした。

安心・安全を築き、地域と社会に貢献できる企業活動を行っています

労働安全衛生の取り組み

労働災害の防止と快適な職場環境が築けるよう安全衛生方針を掲げ、全員参加による活動を推進しています。各工場では、法令に基づく作業主任者及び有資格者を配置し、適正な作業管理を行い、また生産機械の高度化に対応するため、社内専門家で構成する機械検査委員会で検証し、本質安全を念頭に設備安全の向上につなげています。リスクアセスメントについて、使用する機械装置及び化学物質に対して実施し、作業安全と作業環境の管理改善に取り組んでいます。

安全活動について

毎月の安全衛生委員会では、現場パトロールの結果や改善事例の報告、職場の問題点など協議し、労働環境の維持改善に取り組んでいます。職場毎の活動として、安全衛生月間スケジュール表を作成し、活動内容を社員一人一人に周知しきめ細かい活動を行い、定期的に安全教育を実施し、安全意識の強化に努めています。



安全教育の実施

自主防災活動

当社は、リスク管理のBCPマニュアル及び対応手順を整備し、それらに対する備えや訓練を定期的実施しています。防災訓練では消防署指導のもと、自衛消防隊の連携による初期消火や救護・避難訓練などの総合的訓練により全社的な防災意識の醸成をはかり、地域主催の防災訓練に若手社員が毎年参加し、基本動作の習得に努めています。



本社工場・消防訓練



松任工場・消防訓練



オイル漏れを想定した緊急対応訓練



安全衛生方針

『当社は、安全で働きやすく、健康的な職場づくりに取り組めます。そのために社員一人一人はかけがえのない存在であるという認識を持ち、継続的な改善に努めます。』

《スローガン》

みんなで築こう安全職場、進めよう心とからだの健康づくり

2005.4 制定 2012.4 改訂

健康管理について

健康診断、特定業務検診及びストレスチェックを実施し、産業医等による有所見者への健康指導やメンタルヘルス面談指導を行い、心の健康ケアに取り組んでいます。また例年健康に関する講習会を実施していますが、2017年は栄養士を招き、交代勤務者の健康管理及び生活の改善について学びました。



健康管理に関する講習会

次世代育成への取り組み

人材の育成

当社は、次世代のものづくりを担う人材を育成するため、中小企業大学校などの公的機関を利用し、能力開発を行い、自社内の技術・技能の伝承を通じて社員の力量が高められるよう取り組んでいます。製造部門では、技術者・機械オペレータの公的資格取得を推進し、プラスチック成形の国家検定技能士(特級・1・2級)及びTPM認定の自主保全士資格などを持った専門性の高い社員が生産業務に従事し、また設計部門では包装管理士の資格を有する社員が製品設計に携わっています。

少子化対策への支援

急速に進みつつある少子化対策として、次世代を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備することを目的に、「次世代育成支援対策推進法」が施行され、企業には、ライフワークバランスなど雇用環境の整備に向けた取り組み計画の策定と公表が求められています。当社では、社員が仕事と育児の両立を図りながら、安心して仕事に取り組め、その能力を十分に発揮できる職場環境の整備に向けて、自主的な行動計画を策定し取り組んでいます。

女性が活躍できる雇用環境の整備

女性の活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現をはかるため、2016年4月に「女性活躍推進法」が施行され、企業には女性が活躍するための課題及び取り組みを目標・実施計画として策定し公表するよう求められています。当社は、女性社員が約半数と割合が高く、それぞれの能力を生かし活躍できる雇用環境の整備をはかるため、具体的な目標と行動計画を設定し、実現に向け取り組んでいます。

地域貢献活動

健康づくり運動への参加

当社は、金沢市が提唱する健康寿命を延ばし健康都市をめざすプラン「金沢健康づくり応援団」に参加し認定を受けています。これは健康を社会全体で支え守るための取り組みで、行政や市民、地域職域が共に携えて健康意識を高めていくものです。企業の取り組み事例を市民に紹介し、健康啓発及び健康への環境づくりの一助とするものです。

献血活動

日本赤十字社の諸活動を支援するため、活動資金の拠出(寄付)、及び定期的な献血、不足緊急時の対応に協力し、松任工場では地域の工業団地主催による移動献血車での献血に参加しています。

地域防災への参加

金沢市が大規模災害時において地域で共に助け合う制度「災害時等協力事業所」に登録しています。これは災害の際、敷地や井戸などの施設提供、必要に応じて資材やボランティアを出すもので、企業や事業所が参画することにより地域防災力が高まるとされ、安全・安心のまちづくりに寄与しています。

森林保護活動への協力

(財)石川県緑化推進委員会が主催する森林緑化の整備事業に賛同し、企業募金に協力しています。この事業は、県内の森林づくりや学校緑化支援、ボランティア育成などの活動に充てられています。



〒920-0346 金沢市藤江南 2 丁目 4 番地
TEL:076-267-3235 FAX:076-268-7294
URL:<http://www.shinko-ccl.co.jp>